

北部の医療を応援する!

参加費無料

やんばる寺子屋(第1回)参加者募集

北部地域に医師等を確保し、安心して暮らせる生活環境を形成するため、医療を目指す若者たちにもっと「やんばる」を知ってもらう活動を行っています。この度、医師、医療従事者の卵たちと地域の子供たちの交流を企画しました。子どもたちには勉強とともに、北部の医療について知ってもらい、学生さんには北部地域の良さ、医療事情について知ってもらいます。(平成26年度北部地域の安全・安心な定住条件整備事業)



春休みに医大生のお兄さんお姉さんと勉強しよう

①午前：学生と児童で勉強

学生がマンツーマン方式でお子さんの宿題や勉強を指導し、効果的な勉強方法も伝授します。(教科書や文具は持参ください)

指導役：琉球大学医学部地域医療研究会
のみなさん



勉強は
まかせろ!

②午後：今帰仁村探検

学生と一緒に今帰仁村を回ります。よく知られたスポット、あまり知らなかったスポットを知るチャンス。(バスで移動します)

ガイド：村内に詳しい方を予定しています



ワクワク!

日時 2015年3月21日(土) 9:00~17:00

場所 今帰仁村 上運天公民館
(国頭郡今帰仁村上運天438)

定員 北部12市町村の小中学生 10名

参加費 無料(昼食付き)

申込方法 参加申込書をFAXか、電話、メールにて
締切：2月27日(金)まで



主催
お問い合わせ先

北部広域市町村圏組合、共催 琉球大学地域医療研究会
担当：宮川 (070-5277-2211)

〒905-0006 沖縄県名護市宇茂佐の森5-2-7 北部会館

mail: nrp35680@nifty.com URL: <http://www.yanbaru-oki.jp/>

電話 0980-52-7049 FAX 0980-54-1619

プログラム

午前

9 : 00 今帰仁村上運天公民館へ集合

琉球大学医学生による児童の学習指導

学生がマンツーマン方式でお子さんの宿題や勉強を指導し、効果的な勉強方法も伝授します。（教科書や文具は持参ください）

指導役：琉球大学医学部地域医療研究会のみなさん

★昼食 （皆で味わう地域の味）

午後

13 : 00 今帰仁村探検

学生と児童と一緒に今帰仁村を回ります。よく知られたスポット、あまり知らなかったスポットを知るチャンス。（バスで移動します）

★17 : 00 今帰仁村上運天公民館にて解散

アクセス

今帰仁村上運天公民館
国頭郡今帰仁村字上運天445



やんばる寺子屋（第1回）（2015年3月21日） 申込用紙

FAX : 0980-54-1619 （宮川 宛）

締切：2月27日（金）まで

フリガナ		フリガナ	
参加者氏名		保護者氏名	
電話番号		メールアドレス	
住所			
備考			

いま、やんばるで医療を守る必要性があります

1. 救急医療や産婦人科医療が不安定

沖縄県の北部12市町村は、面積が広く、また離島もあるため、住民の基幹病院（県立北部病院及び北部地区医師会病院）へのアクセスが容易ではなく、救急搬送の負担も大きくなっています。また、専門医の不足による、患者を中南部地域へ搬送ケースもあることから、住民に不安を生じさせています。また、周産期医療については、北部で対応できるのは、2診療所のみとなっており、今後、北部で子どもを産むための受け皿が少なくなる可能性が指摘されています。

これから
大丈夫
かしら？



2. 医師の確保

【北部は医師が少ない】

沖縄県の医師数は人口10万に対し235.2人と全国値230.4人を上回っていますが、医師は南部に集中しており、北部12市町村の人口10万対医師数は183.9人と沖縄県や全国の水準を下回っています。

【北部に働く医師の満足度】

一方で、平成25年度に実施した勤務医調査の結果から、「北部で働いている医師の5人に1人が家族に反対されながら働いており、4人に1人が他で働きたいと感じている。」との結果が出ており、北部に勤務している医師の生活や仕事についての満足度が低いことが分かってきました。今後とも北部に医師を確保しつづけるために、早急な対策が必要とされています。

【その原因】

同時に、勤務医調査からは、「救急対応などの勤務負荷が高い」「専門医の資格が取りにくい」と北部の病院に勤務するうえでの課題も浮き彫りになっています。

家族と離れるのは
ちょっとな・・・



医師としての
キャリアを高め
られるか不安・・・

お医者さん
も大変だ



医師も住民もハッピーな地域を目指して

(北部地域の安全・安心な定住条件整備事業の実施内容)

平成26年度

「安全・安心な定住条件整備に向けた基本計画」の策定

有識者、医療機関・医師、地域住民代表、行政関係者による委員会等を設置し「北部の医療を守るための計画」を検討しています。



泉川良範
(看護療育園
施設長)

定住条件整備検討委員会
委員長からのメッセージ

「北部医療の将来は、若い医学生と地元の子どもたちに託されています。医学生にとって子どもとの触れ合いが、地域医療を志す原点となることでしょう。そして、子どもたちは、夢を叶えた医学生から北部を担う勇気をもらいましょう。出会いは「縁」となり、そして「絆」へと続きます。いっしょに夢を実現しましょう。」



平成27年度

以下のプロジェクトの実施を予定しています。

①やんばる医療職人材バンク事業

(北部地域へ医師等呼び込むためのネットワークづくりと求人マッチング機能の整備)

②コンビニ受診抑制事業

(住民の気軽な救急・夜間利用を抑制するための住民啓発活動・キャンペーンの展開)

③やんばる医療塾事業

(琉大医学生と地域児童・住民の交流会を通じた琉大医学生との関係強化)

④やんばる医療職連携事業

(北部地域の医療の質的向上を図るための地域医療職交流)

やんばる寺子屋

(平成27年3月21日開催予定)

琉球大学医学部地域医療研究会の学生さんがマンツーマン方式でお子さんの宿題や勉強を指導する取組を始めます。



勉強は
まかせろ！

事業主体

北部広域市町村圏組合 〒905-0006沖縄県名護市宇茂佐の森5-2-7 北部会館

URL: <http://www.yanbaru-oki.jp/>

電話 0980-52-7049 FAX 0980-54-1619